



東京教区災害対応チーム 災害情報・九州北部豪雨

九州
015

先に九州 014 (2017/7/19) で7月の取り組みについてお知らせいたしました。九州教区主教 武藤謙一主教、九州地震被災者支援室長 柴本孝夫司祭より8月の日程について下記連絡がありました。

「九州北部豪雨被災者支援のための短期プログラム」ボランティアご案内

当災害に対し7月下旬に久留米聖公教会有志、とくに九州地震被災者支援に携わってきた山本尚生兄、中野准之司祭のリードのもと具体的支援の取り組みが実施され、その流れの中で計画されたものです。

この大切な取り組みを、九州地震被災者支援活動に連なる活動、また教区の災害支援の一環と捉えてサポートしたいと思います。どうぞこの活動を覚えてお祈りください。またご参加ご協力くだされば幸いです。

..... 8月の短期取り組み日程： 九州教区久留米聖公教会 牧師 司祭 中野准之

7月5日の九州北部豪雨から1ヶ月が経ちました。福岡県朝倉市、大分県日田市などの被害は甚大で、被災された方々は壊れた家、避難所やみなし仮設での生活が続いています。

被災地区は久留米聖公教会に近く、信徒の直接被災はなかったものの、その知人や幼稚園の関係者が被害にあっているという情報が入ってきました。

7月9日の礼拝後に武藤主教ほか有志が集まり現状の視察へ行き、さらにその2日後に柴本司祭、山本尚生が現地に入り、作業している方へ声をかけ数日間そのお宅のお手伝いをする事になりました。そんな中、大きな被害を受けた信徒の友人宅から連絡を受け、まずは一週間だけ久留米聖公教会を拠点にし、ボランティア募集を呼びかけました。結果24日(月)～29日(土)まで教区内外から毎日4、5名が集まり、あるお宅の片付け作業に集中的に関わりました。そこは杷木(はき)町の松末(ますえ)という被害が大きかった地区です。1週間の活動は終了しましたが、まさに今、具体的支援が必要だと感じました。そこで期間を限定し、九州豪雨被災地短期支援活動を行います。

お手伝い頂ける方はぜひご連絡ください。

1. 活動期間： 下記①②の期間で何日参加でも構いません。

① 8月10日(木)～12日(土)

② 8月18日(金)～31日(木) ※日曜日は除く

2. 活動拠点(宿泊場所)：日本聖公会久留米聖公教会 〒839-0862 久留米市野中町1276-5

3. 活動内容：被災者宅の泥のかき出し作業、清掃等。その他被災者の必要に応じての作業。

4. 費用：宿泊場所、朝食、夕食は提供しますので、それらの費用は不要です。昼食代、銭湯代等は各自負担となります。また、交通費の支給、補助等はありません。

5. 持参品：寝袋等の寝具、また基本的に作業着、帽子、マスク、手袋、長靴、水筒、雨具等は各自でご準備ください。

6. 受入可能人数：拠点のスペース、また現地までの移動手段手配の都合上、宿泊を伴う参加者は最大10名まで。別に、日帰りでの参加は可能です。

7. 申し込み：活動責任者 山本尚生 携帯電話 080-4315-8600に電話相談を。

①電話で連絡調整を得た後⇒②参加者は登録票書式に記入の上、九州教区事務所宛FAXする
登録票書式は《デスク註：<http://kazu.sub.jp/d-kyushu/jimu/pdf/201708touroku.pdf>》

8. 被災地での作業は危険を伴います。ボランティア保険加入を参加条件といたします。

お住まいの社会福祉協議会にてボランティア保険「天災B」プランにご加入ください。

9. その他、ご不明な点は、上記の山本尚生までお問い合わせください。

*デスク註：今回は、従来の九州地震支援ボランティアの申し込み方法と異なります。参加希望については教区事務所を通さずに、直接、山本さんの携帯に連絡してください。